

市長 皆さんそれぞれ素晴らしい人に出会っていますよね。太田さんはお父さんの代から入ったのですか？

太田さん うちの団体は父が理事長で、父が何十年もの教育活動を経て、国際交流の活動をして出来上がった団体です。私個人は元々高校で教えていましたが、高校の枠に当てはめなければならない形が個人的にちょっと苦手で、学年とかルールがないところで、教育活動をやっていけないかとNPOに入り、そこからまなばるという活動を始めてみました。

市長 私もお父様に色々な事を教わりましたが、太田さんがそういう形で関わったのを初めて聞きました。松本さんは、未来塾を始めたころの思いは？

松本さん きっかけは、安中があまりにも元気がなくて、どこよりも遅れているということが解っていました。民間の立場から見ても、これは大変だ、何かやらなくてはという気持ちで、人が集まればそこから何かが始まると、人を集めることを目的としました。

市長 人を集めることが目的とおっしゃいました。今、秋間梅林所有者の半分が高齢になり、耕作放棄で大変な事になっています。松本さん、力を貸して下さいますか。

松本さん 里山を綺麗にするということですね。協力します。（会場拍手）

市長 団体同士の協働ができそうですね。ありがとうございます。皆さん活動をいざ始めてみて「やつて良かった」あるいは「大変な思いをした」などあると思いますが、一言ずついいかがですか。

砂岡さん 年配者だから大変だろうと声を掛けないでいたのですが、どうして声を掛けてくれないので、という思いがある様で、やはりできてもできなくて、これからはお誘いしていきたいと思います。

神戸さん いろいろな場面で難しさを感じるのも事実ですが、自分の思いを大事に言葉にして伝えると、そこで相手と繋がった感じがします。

秋間梅林がこんなに疲弊して、大変な状態だと知りました。今まで梅と言えば秋間で、そこまで危機状態が来ていると思ったら、助けてと言って繋がれば良いなと思います。それが地域づくりだと思います。

市長 他にも、沢山あるのではないですか。

神戸さん 抱点を維持するための資金は、いつもつきまとう問題です。特定非営利活動ですが、維持するために収益事業を持ちながら、非営利活動を維持していく難しさを感じています。

市長 太田さんもNPOですがどうですか？

太田さん 皆さんご存じだと思いますが、NPOの非営利という言葉、決して営利を求めてはいけないという意味ではないです。ただ周りからの見られ方で、NPOなのにというのが、残っていたりするのです。NPOは営利活動しているのです。非営利とは、営利を分配しない。株式の場合は、株で得た営利を株主に分配しますが、それを会員に分配するのではなく、期待に応えて活動で返すというのが非営利という意味なのです。

市長 営利を分配せず、活動で返すということですね。小宮さんどうぞ。

小宮さん 何の活動でもそうですが、まずお金が必要です。私の場合は、いつか夢を叶える用にと少しづつ貯金をしていました。会員の方達から年会費を集めてもすぐ無くなります。今は貯金を少しづつ崩してやっていますが、来年からはもっと良い方法が無いかと考えています。これから地域づくりにはビジネスの専門家のスキルが必要だと思います。

市長 松本さん、これまで聞いてみていかがですか？